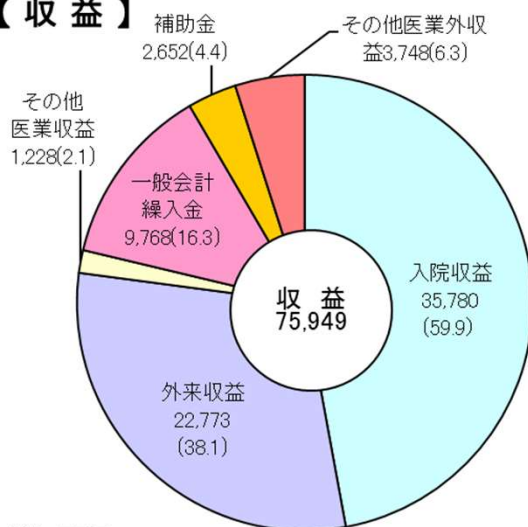


令和4年度当初予算原案と 収支の試算を公表しました (R4.2.16)

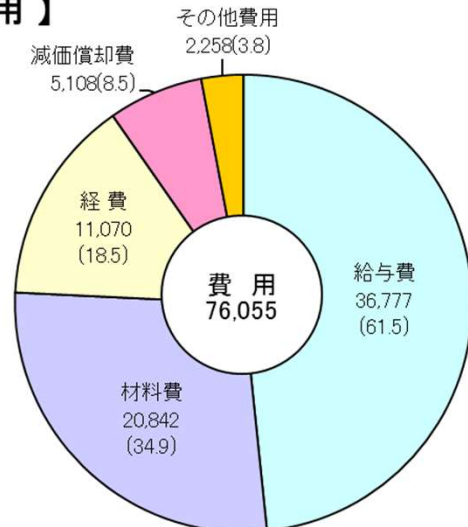
1 予算原案の概要

収益的収支

【収益】



【費用】



単位: 百万円
※カッコ内は医業収益合計を100とした場合の比率

当初予算推移(収益的収支)

(単位: 百万円)

	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
総収益	73,352	74,911	75,250	75,949
うち医業収益	59,528	61,314	59,415	59,781
うち繰入金	10,525	10,212	10,281	9,768
総費用	74,848	76,166	76,175	76,055
うち給与費	38,420	37,779	37,487	36,777
うち薬品費	13,082	14,679	14,563	14,755
うち診療材料費	5,513	5,733	5,721	5,623
純損益額	△ 1,496	△ 1,255	△ 925	△ 106

主要指標

	R2年度決算	R3年度当初	(R3年度見込)	R4年度当初
延べ患者数	1,763千人	1,835千人	1,772千人	1,814千人
うち入院患者数	654千人	692千人	648千人	678千人
うち外来患者数	1,109千人	1,143千人	1,124千人	1,136千人
病床利用率	72.4%	76.9%	73.4%	75.5%
入院単価	52,547円	51,540円	53,726円	52,767円
外来単価	18,788円	19,653円	19,043円	20,054円

2 主な取組

(1) 医療サービスの向上

- | | |
|--|----------|
| ○ 診療機能の維持向上（医療器械備品の整備等） | 4,366百万円 |
| ・手術支援ロボットシステムの導入 | |
| ・放射線治療装置(リニアック)の更新 | |
| ・X線コンピュータ断層撮影装置(C T)搭載型放射断層撮影装置(スペクト)の更新 | |
| ・医療情報システムの更新 | |
| ・がん医療に関する新潟大学との共同研究 | |
| ○ 医療・療養環境の整備、病院機能維持 | 391百万円 |
| ・患者サポートセンター拡張整備、エレベーター改修 | |
| ・中央監視設備リモート盤改修、冷温水管更新 等 | |

(2) 経営体質の強化

- | | |
|---|----------|
| ○ 医師の確保・充実 | 1,019百万円 |
| ・医師確保対策の推進
(民間紹介事業者の活用、寄附講座の実施、医療クランクの配置拡充等) | |
| ・臨床研修、専門研修の受入強化 等 | |
| ○ 看護師等の確保、専門・認定看護師等の育成 | 81百万円 |
| ・看護師養成学校等への積極的なPR | |
| ・認定看護師養成研修、専門・認定薬剤師養成研修の充実 | |
| ・看護職員養成施設の教員養成 等 | |

3 新型コロナウイルス感染症への適切な対応

- | |
|--|
| ○ 感染症指定医療機関（中央病院、新発田病院）を中心に、感染患者及び感染疑い患者の入院受入などに対応 |
| ※ 感染症指定医療機関以外も、感染が疑われるかかりつけ患者の診療等に対応 |

4 経営改善に関する緊急的な取組等

- | |
|--|
| ○ 経営改善に関する緊急的な取組（令和元年11月策定）
経営改善に向けて緊急的に取り組む事項を整理し、可能なものから速やかに実行
＜令和4年度の主な取組＞
<u>収益の向上</u>
・診療体制の効率化による高度医療等の提供（新規加算獲得など診療報酬に反映）【拡充】
・地域連携強化等による病床稼働率の改善【拡充】
<u>費用の縮減</u>
・職員給与の臨時的削減【継続】
・人件費の適正化、医療材料費及びその他費用の縮減【拡充】 |
| ○ 県立病院の役割・あり方や機能・規模の見直し
・持続可能な医療提供体制を確保していくため、各病院が具体的に果たすべき役割や運営主体を含めたあり方、機能・規模の見直しに向けた取組を着実に進める
(地元市町村等との丁寧な意見交換、加茂、吉田病院への指定管理者制度移行準備など) |



＜持続可能な経営の確保＞

- | |
|---|
| ○ 引き続き、新型コロナウイルス感染症に適切に対応しつつ、徹底した経営の効率化等により、内部留保資金枯渇の回避に加えて、一般会計繰入金金の縮減を図り、持続可能な経営の確保を目指す |
|---|

緊急的な取組による収支改善(令和4年度見込)

(単位：百万円)

項目	効果額	備考
収益の向上	948	
○診療体制の効率化による高度医療等の提供 (新規加算獲得など診療報酬に反映)	420	中央、 がんセンター、 新発田、十日町、 加茂、妙高、松代
○緩和ケア病棟の運用	255	H31.2月～ がんセンター R1.9月～ 加茂
○稼働率改善の取組	150	R4.4月～ 十日町 R4.10月～ 坂町
○料金規程の継続的見直し	123	
費用の縮減	1,755	
○人件費の適正化	704	
・配置職員数の適正化	527	
・手当の適正化 など	177	
○職員給与の臨時的削減	597	
○患者数に応じた病床規模の適正化	384	H31.4月～ 吉田、加茂 R2.4月～ 精神医療センター
○医療材料費の縮減 ・医薬品の院内フォーミュラリー（標準的な医薬品の使用指針）の導入検討 ・診療材料調達代行 など	70	
○その他費用の縮減 ・業務委託の契約方法見直し ・診療機能や収益性・安全性を考慮した器械備品の更新・導入 など	—	
収益と費用の合計(収支改善額)	2,703	

※R1～3年度の取組でR4年度に効果が継続するものを含む

病院事業会計収支の試算(一定の前提条件に基づく試算)

(1) H30決算時点

(税込、単位:億円)

①H29債務超過発生 ②H30資金不足比率発生 ③R2以降内部留保資金不足可能性

※資金不足比率:10%以上→起債許可制、20%以上→経営健全化計画策定

	H29 決算	H30 決算	R1 当初	R2 試算	R3 試算	R4 試算	R5 試算	R6 試算	R7 試算
医業収益	580	580	595	596	604	611	619	627	635
医業費用	707	721	731	740	758	775	783	794	805
医業損益	▲ 127	▲ 141	▲ 136	▲ 144	▲ 154	▲ 164	▲ 164	▲ 167	▲ 170
経常損益	▲ 6	▲ 14	▲ 15	▲ 20	▲ 26	▲ 32	▲ 30	▲ 31	▲ 32
一般会計繰入金	128	134	139	129	134	139	142	144	146
資本金(▲債務超過)	▲ 4	▲ 21	▲ 36	▲ 56	▲ 86	▲ 118	▲ 148	▲ 179	▲ 211
資金不足比率%(▲不足)	① -	▲ 2.8	▲ 3.1	▲ 5.4	▲ 8.0	▲ 11.6	▲ 15.9	▲ 20.8	▲ 25.8
内部留保資金(▲不足)	23	② 5	4	▲ 9	▲ 25	▲ 47	▲ 74	▲ 106	▲ 139



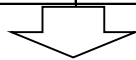
収支改善目標額

(2) R2決算時点

【R2を決算に置き換え再試算(R3は当初予算)】緊急的な取組による収支改善効果がR4以降も継続として試算

④R6以降内部留保資金不足可能性

	H29 決算	H30 決算	R1 決算	R2 決算	R3 当初	R4 試算	R5 試算	R6 試算	R7 試算
医業収益	580	580	596	563	594	623	632	641	650
医業費用	707	721	734	715	745	770	784	807	820
医業損益	▲ 127	▲ 141	▲ 138	▲ 152	▲ 151	▲ 147	▲ 152	▲ 166	▲ 170
経常損益	▲ 6	▲ 14	▲ 10	2	▲ 9	▲ 14	▲ 16	▲ 25	▲ 26
一般会計繰入金	128	134	143	135	138	139	141	146	146
資本金(▲債務超過)	▲ 4	▲ 21	▲ 33	▲ 29	▲ 38	▲ 52	▲ 68	▲ 93	▲ 119
資金不足比率%(▲不足)	-	▲ 2.8	▲ 2.0	1.2	1.8	1.2	▲ 0.4	▲ 4.8	▲ 9.7
内部留保資金(▲不足)	23	5	8	27	36	34	24	▲ 3	▲ 34



(3) R4当初予算時点

【R3を決算見込・R4を当初予算に置き換え】緊急的な取組による収支改善効果がR5以降も継続として試算

⑤R7以降内部留保資金不足可能性

	H29 決算	H30 決算	R1 決算	R2 決算	R3 見込	R4 当初	R5 試算	R6 試算	R7 試算	R8 試算
医業収益	580	580	596	563	576	597	632	641	650	650
医業費用	707	721	734	715	733	744	784	807	820	820
医業損益	▲ 127	▲ 141	▲ 138	▲ 152	▲ 157	▲ 147	▲ 152	▲ 166	▲ 170	▲ 170
経常損益	▲ 6	▲ 14	▲ 10	2	5	▲ 1	▲ 16	▲ 25	▲ 26	▲ 26
一般会計繰入金	128	134	143	135	135	135	141	146	146	146
資本金(▲債務超過)	▲ 4	▲ 21	▲ 33	▲ 29	▲ 24	▲ 25	▲ 41	▲ 66	▲ 92	▲ 118
資金不足比率%(▲不足)	-	▲ 2.8	▲ 2.0	1.2	3.9	6.5	4.6	0.1	▲ 4.8	▲ 9.3
内部留保資金(▲不足)	23	5	8	27	48	66	56	29	▲ 2	▲ 31

※R8試算はR7仮置(今後のコロナ影響踏まえた患者動向や加茂・吉田前提条件を整理して算定必要)